

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	飛騨あさひイベント開催事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。
種別				款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	C					
担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3632	項	2	観光費		D	その他事業	H26計画額	6,100	千円			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客	どうしたいのか(意図)	・地域資源を最大に生かした観光イベントの開催により、住民とのふれあい、交流人口の増大を図ることが出来る。	概要	事業の実施手法(手段)	・美女高原水芭蕉祭り、秋神川アマゴ釣り大会、すずらん祭り、ドスコイ祭り、クリスタルライブinあさひ、氷点下の森氷祭り (事業実施団体への負担金)
	対象者数	不特定多数					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・美女高原水芭蕉祭り、秋神川アマゴ釣り大会、すずらん祭り、ドスコイ祭り、クリスタルライブinあさひ、氷点下の森氷祭りの6イベント							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		イベント回数	回	目標値	6	6	6	5
		実績(見込)	6	6	6			
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
		交流人口	人	目標値	9,200	10,000	11,000	10,000
		実績(見込)	6,479	7,362	10,000			
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	70	74	91	
		自己負担金率	%	目標値	17	20	23	
		実績(見込)	18	23	23			
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	106	116	100	
				目標値				
		実績(見込)						
成果指標	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
	実績(見込)							
補足	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
	実績(見込)							
・地域の風土を活かしたイベントとして住民の憩いの場、交流の場として賑わいを取り戻しつつある。								

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・来客者の関心が高まるような仕掛けづくり等、住民の意識高揚や地域の活性化を図るためには、具体的な取り組みを検討する必要がある。
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題に対するH25対応状況	・合併前から実施している行事、イベントについては、観光イベント運営委員会、道の駅イベント運営委員会、水祭り運営委員会、飛騨あさひ旅館組合により今後の方向性について精査を行い、継続について十分検討する必要がある。		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討	・事業の必要性や効果を考慮しながら、自主開催へ向けた事業内容とする様に検討して行く。
	二次評価	維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	12,500	10,099	9,000	6,100
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,929	1,372	818	610
	受益者 入込数	(B)	6,479	7,362	11,000	10,000

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	美女高原水芭蕉祭り、すずらん祭り、ドスコイ祭り、クリスタルライブinあさひ、氷点下の森氷祭り (事業実施団体への負担金)	要求のポイント	地域資源を最大に生かした観光イベントの開催により、住民とのふれあい、交流人口の増大を図る	事業実施の課題	行事、イベントの必要性や効果を各委員会、組合と協議しながら、自主事業等での開催が可能になる様に検討する。	観光課	平成27年度以降の観光振興事業については、市の関わり方、実施主体、誘客効果等の観点から、市が直接実施するもの、市が民間と一体となって実施するもの、民間団体が主体となって実施するもの及び地域の自主事業に整理することとしており、地域振興イベントについても、整理方針への対応を見据えた事業実施が必要である。
						地域政策課	同上

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	9,000	6,100	△ 2,900	6,100	6,100	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	9,000	6,100	△ 2,900	6,100	6,100		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	ふるさと体験事業 (グリーン・ツーリズム推進)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	<input type="radio"/> A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	積極的な観光振興策を実施します ・飛騨高山の自然環境を利用したグリーンツーリズム(自然に親しむ旅行)に加え温泉や高山で作られた高品質の食材を使ったヘルスツーリズム(健康に良い旅行)、自分だけの製品をつくるクラフトツーリズム(モノづくりの旅行)など、地元の産業と一体となった新たな旅行スタイルを生みだします。
種別				款	6	商工費		<input type="radio"/> B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	朝日支所 基盤産業課	内線		項	2	観光費		<input type="radio"/> C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	700 千円		
		3632		目	1	観光振興費		<input type="radio"/> D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客	どうしたいのか (意図)	・都市住民との心の交流を通じてグリーン・ツーリズム活動を推進し地元産業の潤いと高齢者・女性等の生きがいづくりを図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・龍巖山ミニ登山、御岳登山と自然観察会、すずらん大根と野菜のオーナー、子ども農山漁村交流プロジェクト事業、東海雪合戦大会に向けた調査・研究・実施
	対象者数	不特定多数 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・龍巖山ミニ登山、御岳登山と自然観察会、すずらん大根と野菜のオーナー、子ども農山漁村交流プロジェクト事業、東海雪合戦大会							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	体験イベント回数	回	目標値	4	4	4	5
		実績(見込)	4	5	4			
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	125	100	
		体験イベント参加者	人	目標値	500	700	2,500	2,500
	実績(見込)	635	2,572	2,500				
	算出根拠等		達成率(%)	127	367	100		
				目標値				
		実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値				
		実績(見込)						
算出根拠等		達成率(%)						
補足			目標値					
	実績(見込)							
算出根拠等		達成率(%)						
・地元の産業と一体となった新たな旅行スタイルが出来つつある。								

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・グリーン・ツーリズムにむけた取り組みの認知度は高まっているが、体験者の関心が高まるような更なる仕掛けづくり等、市を挙げた事業に発展させるために具体的な取り組みを検討する必要がある。
----------------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・地域内外への紹介をインターネット・ブログ等を活用し、体験者の関心が高まるような仕掛けづくりを行う。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・事業の必要性や効果を考慮しながら、持続可能となるよう運営主体の強化を図る必要がある。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
○ 維持・改善	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。	
○ 拡大		
○ 縮小		
○ 廃止検討		

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	800	800	700
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,260	311	280
	受益者	(B)	635	2,572	2,500

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・龍巖山ミニ登山、御岳登山と自然観察会、すずらん大根と野菜のオーナー、子ども農山漁村交流プロジェクト事業	要求の ポイント	・グリーン・ツーリズム推進事業により、市民と行政が一体となり交流人口の拡大を図る	事業 実施の 課題	・今後体験型交流事業を推進していくうえでは、幅広い民間関係者に参加していただけるようにし、市を挙げた事業に発展させたい。	観光課	・特例期間終了を見据え、地域主体の事業とすべく運営主体の強化を図る必要がある。
						地域政策課	・平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		700	700	0	700	700	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	700	700	0	700	700		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	スズランカップ Jrクロスカントリー大会開催事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約
	種別			9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	朝日支所 地域振興課	内線	予算	5	保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	500 千円		
				3610	1		体育総務費	D				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び競技選手	どうしたいのか(意図)	・県内唯一のジュニア対象のクロスカントリー大会を開催し競技力向上と青少年の健全育成を目指す	概要	事業の実施手法(手段)	期 日 平成25年2月第2日曜日 会 場 鈴鹿高原クロスカントリーコース 部 門 小学生・中学生・高校生の部(男女) 内 容 クロスカントリースキー(フリー)
	対象者数	92,097					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	期 日 平成25年2月10日(日) 会 場 鈴鹿高原クロスカントリーコース 参加者 小学生(男子15人・女子13人)中学生(男子11人・女子7人)高校生の部(男子13人・女子4人) 計63人 内 容 クロスカントリースキー(フリー)						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	スズランカップクロスカントリースキー大会の実施	回	目標値	1	1	1	1
成果指標	算出根拠等	年一回	実績(見込)	1	1	1	
	参加者数	人	達成率(%)	100	100	100	
成果面	算出根拠等		目標値				
	参加者数		実績(見込)	55	55	65	80
補足	算出根拠等		達成率(%)	115	87	100	
	算出根拠等		目標値				
補足	算出根拠等		実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
・県内でジュニアの競技会が行われる唯一の大会であり、競技者の育成、競技力向上が図られている。							

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・市内でも競技者数が少なく、全市民を対象とする大会ではない。 ・地域活性化の施策として実施するため、地域の実行委員会による大会運営であるが競技団体の協力は欠かせない。今後競技団体が運営母体となり公認レースとなるよう図り、近県や全国から多くの参加の増加を図る必要がある。
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・県外の競技団体へ大会参加の案内を行う。	
次年度の実施方針	維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・大会の規模を拡大し参加者の募集を広くに行い、宿泊者数の増加が見込める地域の特色を活かした活性化に繋がる大会とする。
	二次評価 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、スポーツ大会誘致のあり方について検討する必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	500	500	500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	7,937	10,417	7,692
	受益者	(B)	63	48	65

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・ジュニアクロスカントリースキー大会の開催	要求のポイント	・県下で唯一のジュニアを対象としたクロスカントリースキー競技会を秋神地域で開催	事業実施の課題	・地域のジュニア育成会が主体となり実施しているが、育成会の会員も少なくなり、今後の運営主体を県競技団体へ移行する必要がある。	スポーツ推進課 地域政策課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 今後、協働のまちづくりにより、地域(実行委員会)が事業を自主運営していくことができる仕組みづくりを検討する必要がある。 平成27年度以降の事業実施について、地域で検討する必要がある。
------	-----------------------	---------	---	---------	--	------------------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	500	500	0	1,300	1,300	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	500	500	0	1,300	1,300		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	高山市老人福祉計画	市長公約	5 医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要介護者等への地域福祉体制を整備します。
種別				款	3	民生費		○	B				
担当課	朝日支所 地域振興課		内線	項	1	社会福祉費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	420 千円		
			3640	目	3	老人福祉費		D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	どうしたいのか(意図)	明るい長寿社会と豊かな老後を目指す。	概要	事業の実施手法(手段)	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、福祉の向上のために事務局人件費を助成し、老人クラブを通じて、各種活動の育成、支援を行う。
	対象者数	9,677					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H24実績	市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,000	10,000	10,000
				実績(見込)	9,796	9,584	9,677	
				算出根拠等	達成率(%)	93	96	97
	活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	143	139	138
				実績(見込)	143	139	138	
				算出根拠等	達成率(%)	95	97	99
	活動指標	連合長寿会加入率	%	目標値	43	40	40	40
				実績(見込)	39	38	37	
				算出根拠等	達成率(%)	91	95	93
	補足			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				

## 3 分析・評価 (Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりも深めながら、今後一層の充実と活発な取り組みが必要である。
--------------------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH25対応状況	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 ・老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 ・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	420	420	420
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	781	653	640
	受益者	朝日区会員数	(B)	538	643

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブの各種活動の育成、支援を行うため、その事務局人件費の助成を行う。	要求のポイント	地域老人クラブ事務局人件費	事業実施の課題	地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般会計(31336事業老人クラブ活動費補助金)予算へ移行する必要がある。 平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。	高年介護課 地域政策課
------	---	---------	---------------	---------	---	----------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		420	420	0	420	420	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	280	280	0	280	280		
	その他			0				
	一般財源	140	140	0	140	140		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72199	市道未登記用地測量事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
種別				款	7	土木費		○	B			
担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3641	項	2	道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	5,000 千円	
				目	1	道路橋りょう総務費		D	その他事業			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 朝日地域の住民	どうしたい のか (意図)	・未登記路線の整備	概要	事業の実施 手法(手段)	・市道未登記箇所の確定測量を行い登記関係書類を作成し、所有者から寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。
対象者数	1,838 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・3路線9筆の調査(境界立会、相続関係)および多角測量を実施								
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動 指標	所有権移転登記筆数		筆	目標値	21	28	20	20
		実績(見込)			0	0	6		
		算出根拠等			達成率(%)	0	0	30	
	成果 指標	登記延長		m	目標値	2,401	1,580	1,630	1,500
		実績(見込)			0	0	1,000		
		算出根拠等			達成率(%)	0	0	61	
	成果 指標	調査延長		m	目標値	2,401	1,580	1,630	1,500
		実績(見込)			2,401	1,580	1,000		
		算出根拠等			達成率(%)	100	100	61	
	補 足				目標値				
					実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)						

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・専門の課(係)を設立し重点的に事業を進める必要がある。 ・単価契約ではなく、各工程毎に積算をおこない、入札発注するのが望ましい。
----------------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・市全体の調整を、本庁担当課と行う。		
次 年 度 の 実 施 方 針	担 当 課 評 価	維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小	未登記の解消を遂行していくが、市全体の調整が必要であり、地域振興特別予算ではなく一般予算で対応すべきである。
	二 次 評 価	維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,143	307	5,000	5,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,663	164	2,720	2,778
	受益者	4/1現在の朝日地域住民	(B)	1,890	1,873	1,838

## 5 予算編成(Action2)

事業 内容	・市道未登記用地の調査、測量、登記	要 求 の ポ イ ン ト	事 業 実 施 の 課 題	支 所	・各支所担当者では事業に専念できず進捗率が伸びないため、専門の課(係)を設立し重点的に事業を進める必要がある。 ・単価契約ではなく、各工程毎に積算をおこない、入札発注するのが望ましい。	維 持 課	世代交代が進んでいくため、早めに地権者の承諾を得て、優先順位をつけて未登記路線の解決を進める必要がある。
						地 域 政 策 課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,000	5,000	0	7,000	7,000	・未登記用地の整理推進に必要な事業費を確保	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,000	5,000	0	7,000	7,000		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94199	花いっぱい運動推進事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	4 個人・家庭・地域を大切にすることを築きます。 ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。
種別				款	9	教育費		○	B				
担当課	朝日支所 地域振興課		内線	項	4	社会教育費	H26計画額	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	600 千円			
			3634	目	1	社会教育総務費		D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日地域の住民	どうしたいのか(意図)	・花いっぱい運動に参加する町内会や、地域の社会教育団体など広く募集し、花苗を配布して、朝日地域の景観保全を図る。 ・花壇づくりを通して、地域の子供から高齢者まで一体となった交流の場とする。	概要	事業の実施手法(手段)	花苗、チューリップの球根を購入し、希望する団体などへ配布する。
	対象者数	1,838 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・マリーゴールド (イエロー オレンジ ゴールデン フレーム スプレー ハーモニー) 各23TR ・チューリップの球根 (黄・赤・桃) 各1,250個						
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	参加団体	算出根拠等	団体	目標値	21	21	20	16
				実績(見込)	23	17	17	
				達成率(%)	110	81	85	
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
達成率(%)								
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	ニーズを理解し、花の種類や数を検討する。
--------------------------	----------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	参加団体の花苗等の希望数に合わせた発注数の調整と、色を三色に絞り育てやすく扱いやすい品種に変更した。
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 町内会等の交流の場にもなる花壇づくりに、参加団体が積極的に取組める内容の見直しを図る、 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 ・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	604	597	680	
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	26,261	35,118	42,500	37,500
	受益者	地域団体	(B)	23	17	16	16

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	社会教育推進事業の一環として、花いっぱい運動を推進するための花苗・球根を購入する。	要求の ポイント	事業 実施の 課題	丈夫で育てやすく、色が映える品種をニーズを踏まえ検討する。 花壇の面積や数は減少傾向ではあるが、参加する町内会等団体のニーズはあることから、27年度以降は一般予算に移行するなど検討が必要。 地域社会教育推進事業は、花いっぱい運動にかかる経費として全支所地域において計上されているが、予算措置の内容は花苗等の購入のほか肥料や資材の購入、花壇の管理委託など地域によって異なっている。 今後、協働のまちづくりの議論の中で、事業の必要性や取り組み方法等について検討する必要がある。 平成27年度以降は市の関わり方を整理し、地域づくりの観点から市が実施することと地域で実施することの整理が必要である。	市民活動推進課 地域政策課
------	---	-------------	-----------------	---	------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		680	600	△ 80	600	600	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	680	600	△ 80	600	600		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	ひだ朝日伝統文化祭助成事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ◎芸術文化の振興を積極的に支えます ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上確保します。
	種別			9	教育費		○	B					
担当課	朝日支所	地域振興課	内線	4	社会教育費	目	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	500	千円		
				3634	6		文化振興費	D					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民(朝日町民)	どうしたいのか(意図)	地域芸能・工芸を一同に集める発表会、展示会を行う文化祭の開催により、貴重な伝統文化・芸能を後世に継承し残すと共に、地域かんの住民の交流を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	「ひだ朝日伝統芸能文化祭」を秋季に開催する。 事業実施主体 朝日地区社会教育推進委員会
	対象者数	1,838					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	伝統芸能の発表と、伝統工芸の展示発表により、伝統文化への理解が深まった。							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	来場者(参加者含む)	算出根拠等	来場者集計	目標値	500	500	500	500
				実績(見込)	500	500		
				達成率(%)	100	100		
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
達成率(%)								
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	補助金の減額も踏まえ、事業規模の縮小や、コスト削減による見直し。
--------------------------	----------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	事業の目的を達成できるよう、事業規模や内容の見直し、コスト削減を行う。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	補助金の減額も踏まえ、将来的に地区社教等が補助金に頼らず、事業を自主開催していける基礎作りが必要。参加者から参加費を徴収するなどのコスト面や事業内容の見直しが必要。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次 評価	○ 維持・改善	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 800	600	500	500
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 423	320	272	272
	受益者	朝日町民(H25. 4. 1現在)	(B) 1,890	1,873	1,838

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	地域芸能・工芸を一同に集める発表会・展示会を開催し、地域文化への理解を深める。	要求の ポイント	地域文化、伝統芸能に触れる貴重な場となっており、地域住民の交流を促進している。	事業 実施 の 課題	特例期間終了を見据え、事業の自主開催に向けた基礎作りのために、参加者から参加費を徴収するなど、コスト面や内容の見直しが必要。	生涯 学習 課 地域 政策 課	・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において実施しているが、地域により、内容・実施主体・助成割合等が異なっている。今後、協働のまちづくりの議論の中で、事業の必要性や取り組み方法等について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。  平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。
------	---	-------------	---	---------------------	--	--------------------------------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		500	500	0	500	500	要求どおり	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	500	500	0	500	500		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	地域文化振興事業費	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ◎芸術文化の振興を積極的に支えます ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上確保します。
	種別			9	教育費		○	B					
担当課	朝日支所	地域振興課	内線	4	社会教育費	目	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	1,200	千円		
				3634	6		文化振興費	D					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民(朝日町民)	どうしたいのか(意図)	優れた芸術文化に接する機会を創出し、市民に心豊かな生活を営む場を提供し、魅力ある地域づくりを創出すると共に、地域の文化団体における自主事業開催のための基礎づくりを目指す。	概要	事業の実施手法(手段)	講演会や演奏会など芸術鑑賞を開催する。 事業実施主体 朝日地区社会教育推進委員会
	対象者数	1,838					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・「ふれあいコンサート」バイオリン・ピアノ演奏 ・「中国民族音楽&洋軽三味線コンサート」							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	来場者	算出根拠等	来場者集計	目標値	300	300	300	300
				実績(見込)	350	380		
				達成率(%)	117	127		
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
達成率(%)								
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	より効率的・効果的な事業の開催をするための見直し。
--------------------------	---------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	コストを削減しながら、効果的な事業の開催のために見直しを行う。	
次年度の実施方針	○維持・改善	実績や効果の検証を行い、効果的・効率的な事業を開催する。  ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
	○維持・改善	
	○縮小	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,600	1,500	1,400	1,200
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	847	801	762	653
	受益者	朝日町民(H25. 4. 1現在)	(B)	1,890	1,873	1,838

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	講演会や演奏会などの芸術鑑賞事業を開催し、芸術文化に触れる機会を創出する。	要求のポイント	事業実施の課題	支所	地区社会教育推進委員会による自主事業としての運営の確立	生涯学習課	・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において実施しているが、地域により、内容・実施主体・助成割合等が異なっている。今後、協働のまちづくりの議論の中で、事業の必要性や取り組み方法等について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。
地域政策課						平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。	

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,400	1,200	△ 200	1,200	1,200	要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,400	1,200	△ 200	1,200	1,200		



# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	市指定文化財保存事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市指定文化財保存計画	市長公約	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・高山固有の美しさを守り続け、歴史的、社会的に価値がある有形無形の伝統文化や、文化財などの資源を保存活用する。
種別			款	9	教育費		○	B				
担当課	朝日支所 地域振興課	内線	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	1,150 千円		
			目	7	文化財費		D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	天然記念物、有形文化財等は貴重な国民的財産であり、保護管理に努め後世に伝えていく大切な責務を持っている。説明板等を設置し、その重要性和意識啓蒙を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・指定文化財石柱設置 ・説明看板設置
	対象者数	92,097 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・前年からの事業を継承し、石柱を設置					
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	石柱設置数	個	目標値	5	5	5	2
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	5	5	5	
	対象文化財に占める設置済み石柱の比率	基	達成率(%)	100	100	100	
成果面	算出根拠等		目標値	100	100	100	100
			実績(見込)	63	77	88	
成果面	算出根拠等		達成率(%)	63	77	88	
			目標値				
成果面	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
成果面	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
成果面	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
成果面	算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)				
補足	・石柱については、指定文化財のうち有形文化財等を対象として設置しており、継続事業として所有者(管理者)への認識が高まっている。 ・登山道の石仏発掘調査は朝日村時代より実施しており、公募等により広く周知され保護活動に取り組まれている						

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・保存及び活用を図るために実施する事業として定着しつつあるものの、文化財に対する意識の向上を図るうえで、より多くの地元町民や市民を巻き込み関心が高まる仕掛けづくりを検討する必要がある ・石柱については対象文化財の損傷や盗難につながる恐れもあることから、設置の妥当性を検証する必要がある
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	貴重な文化遺産として後世に継承していく責務から、その必要性や妥当性を考慮し継続事業として取り組んでいく
次年度の実施方針	〇維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 〇維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
担当課評価	対象文化財の見直しを行い、有効利用が図られるよう検証を行う
二次評価	・平成26年度までに完了できるように計画的にすすめる必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 938	918	1,000	1,150
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 10	10	11	12
	受益者	0 (B)	93,312	92,861	92,097

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・指定文化財石柱設置 ・乗鞍登山道石仏祠設置	要求のポイント	・貴重な歴史文化遺産を後世に継承する保護費としての計上	事業実施の課題	・文化財保護に対する地域住民への意識啓蒙の普及推進 ・平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要 乗鞍登山道に設置する石仏の祠については、平成27年度以降の管理区分を明確にすること
------	---------------------------	---------	-----------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,000	1,150	150	1,000	1,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	その他		0				
	一般財源	1,000	1,150	150	1,000		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	スポーツフェスタ助成事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約
	種別			9	教育費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	朝日支所 地域振興課	内線	3634	項	5	保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	150 千円	
				目	1	体育総務費		D	その他事業			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域内市民対象	どうしたいのか(意図)	・余暇の時間増大により物質的充足感より心の豊かさなど精神的な充足感が強く求められるようになり、日常生活に定着した活動により参加しやすい軽スポーツの大会を開催することにより地域の活性化につなげたい	概要	事業の実施手法(手段)	市全体の行事として、軽スポーツを通じ生涯スポーツ活動のきっかけとする 期 日 10月上旬 会 場 朝日小グラウンド、体育館 対象者 朝日支所地域内の小学生から高齢者まで 内 容 グラウンドゴルフ、ダーツ、ベタンク、輪投げ、キックボウリング、ストラックアウト、ウォークラリー等
	対象者数	1,838					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		期日:平成24年10月7日 会場:朝日小グラウンド、体育館 内容:ベタンク、ダーツ、グラウンドゴルフ、その他軽スポーツ 参加者:100名					
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	スポーツフェスタの開催	回	目標値	1	1	1	1
成果指標	算出根拠等	年一回	実績(見込)	1	1	1	
	参加者数	人	達成率(%)	100	100	100	
成果面	算出根拠等		目標値	150	150	150	150
			実績(見込)	100	100	150	
補足	算出根拠等		達成率(%)	67	67	100	
			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
・子供から高齢者までが一緒に集い楽しみながら健康作り、地域の絆が築ける事業である							

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・参加者が子供、高齢者が個人で参加できる種目が主体であるため、グループ、地域で参加できる種目を加え町内会で取り組める内容にする必要がある。
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	軽スポーツを通じて地域市民の精神的、肉体的リフレッシュの効果を期待し、市民の期待する事業として計画を再検討する																				
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>維持・改善</td> <td rowspan="2">軽スポーツを通じて地域市民の精神的、肉体的リフレッシュの効果を期待し、市民の期待する事業として計画を再検討する</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>縮小</td> <td rowspan="2">特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>廃止検討</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>維持・改善</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>縮小</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>廃止検討</td> </tr> </table>	担当課評価	維持・改善	軽スポーツを通じて地域市民の精神的、肉体的リフレッシュの効果を期待し、市民の期待する事業として計画を再検討する	○	拡大	○	縮小	特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。	○	廃止検討	二次評価	維持・改善		○	拡大	○	縮小		○	廃止検討
担当課評価	維持・改善	軽スポーツを通じて地域市民の精神的、肉体的リフレッシュの効果を期待し、市民の期待する事業として計画を再検討する																			
○	拡大																				
○	縮小	特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。																			
○	廃止検討																				
二次評価	維持・改善																				
○	拡大																				
○	縮小																				
○	廃止検討																				

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	150	150	150
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,500	1,500	1,000
	受益者 参加者数	(B)	100	100	150

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	地区社教が主催する軽スポーツ大会に対する助成	要求のポイント	・子供から高齢者までが一緒に集い楽しみ、地域の絆を深めることができる事業の実施	事業実施の課題	広く参加してもらう大会にする必要がある	スポーツ推進課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。今後、協働のまちづくりにより、各地区社教等が事業を自主運営していくことができる仕組みづくりを検討する必要がある。
地域政策課							平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	150	150	0	150	150	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	150	150	0	150	150		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	53299	林業関連施設廃止事業	内線	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約	該当なし
種別					款	5	農林水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	朝日支所 基盤産業課	3631	項	3	林業費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	○	D	その他事業	H26計画額	千円	
			目	2	林業振興費								

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	施設利用者	どうしたいのか(意図)	当該施設は、かつて目的をもって導入されたが近年では利用頻度が低く、その役割を全うしたと判断される。また、施設の老朽化による危険性が高まっていることから、解体撤去し整然とした景観を確保する。	概要	事業の実施手法(手段)	施設を解体撤去する。
	対象者数	1,899 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	実施なし							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		解体撤去施設数	施設	目標値	0	0	0	2
	成果指標	算出根拠等		実績(見込)	0	0		
				達成率(%)				
	成果指標	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
	成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
				達成率(%)				
	成果指標	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
	補足	算出根拠等		実績(見込)				
				達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討
	二次評価	維持・改善
		拡大
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	0	0	0
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	0	0	0
	受益者	施設利用者	(B)	2,639	1,899	1,899

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	あさひの森トイレ、緑と木のふれあい休憩所は、かつて目的をもって導入されたが近年では利用頻度が低く、その役割を全うしたと判断される。また、施設の老朽化による危険性が高まっていることから、解体撤去し整然とした景観を確保する。	要求のポイント	2施設を解体撤去する。	事業実施の課題	利用頻度が低いとともに、老朽化による危険性が高く、解体撤去による整然とした景観を確保する必要がある。	林務課 施設解体には関係者等の理解を得て実施する必要がある。	地域政策課
------	--	---------	-------------	---------	--	-----------------------------------	-------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	1,500	1,500	1,543	1,543	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	0	1,500	1,500	1,543	1,543		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	61199	道の駅周辺整備事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長 公約
種別				款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業		
担当課	朝日支所 地域振興課	内線	0	項	1	商工費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	17,500 千円
				目	1	商工振興費		D	その他事業		

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日支所地域住民	どうしたいのか(意図)	(親子ふれあい公園整備事業を中止し、道の駅周辺整備事業を実施する) ・道の駅への集客増と地域住民の生きがいづくりの場とする ・利用者の安全を確保する	概要	事業の実施手法(手段)	道の駅のイベント広場をグラウンドゴルフ公認コース設置可能な多目的広場に改修する ・道の駅のちびっこ広場を移設する(安全確保、駐車場拡張)
	対象者数	1,838					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	事業計画作成							
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	グラウンドゴルフコース設置		件	目標値				1
成果指標	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
成果面	利用者数		人	目標値			500	
	算出根拠等			実績(見込)				
成果面				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
成果面				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
補足				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
補足				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・グラウンドゴルフ場の宣伝を行い利用者の確保(誘客) ・道の駅のちびっこ広場を移設する(安全確保、駐車場拡張)
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)	
○ 拡大		
○ 縮小		
○ 廃止検討		

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	0	10,000	17,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)			5,441	9,521
	受益者	朝日町民(H25. 4. 1現在)	(B)	0	0	1,838

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	やすらぎ館進入路整備A=178㎡、排水路L=37m こだま館前ちびっこ広場整備A=820㎡、暗渠排水L=200m 道の駅付帯施設バリアフリー、進入路、駐車場 ・舗装工A=850㎡、取付道1式 ・農産物直売所修繕(シャッター設置)	要求の ポイント	親子ふれあい公園を見直し、道の駅に機能を付加した再整備を行う	事業 実施 の 課題	支所 整備後の施設の維持管理及び自主事業による誘客等による収益増を指導する必要がある	商工課 朝日地域の地域拠点としての機能を付帯させるものであることから、単なる道の駅の施設としてではなく、地域全体で活用及び維持管理を実施するなど、地域の活性化につながる事業展開を進める必要がある。	地域政策課 同上
------	--	-------------	--------------------------------	---------------------	---	---	-------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		10,000	17,500	7,500	18,000	18,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	10,000	17,500	7,500	18,000	18,000		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62499	乗鞍・御嶽登山道管理事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。
	種別			6	商工課		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	朝日支所 基盤産業課		内線	2	観光費	O	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	200 千円	1	
	課	3632		3	自然公園費		D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	来訪者(登山道)	どうしたいのか (意図)	・来訪者が安全に自然に親しめるよう、乗鞍及び御嶽の登山道の維持管理と環境整備を実施する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・業務委託により、下層植物について登山道の刈払い等を行う。
	対象者数	不特定多数					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	乗鞍青屋登山道 6km刈払い								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	委託業務回数		回	目標値	1	1	1	1
		実績(見込)			実績(見込)	1	1	1	
		算出根拠等		年1回	達成率(%)	100	100	100	
	成果面				目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
	成果面				目標値				
					実績(見込)				
		算出根拠等			達成率(%)				
	成果面				目標値				
					実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)						
補足				目標値					
				実績(見込)					
	算出根拠等			達成率(%)					
・登山ルートを区切り年次計画を立てて実施している。									

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・登山道の延長が長く、継続的な刈払いの実施が困難になって来ているため、登山愛好者や地元関係者との協働により環境整備が行えるような取組みを検討する必要がある。
----------------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・安全に自然に親しめるような環境整備を行うため、事前に調査し重要なポイントを業者に指示する。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・安全に自然に親しめるような環境整備を行うため、事前に調査し計画的な維持修繕を実施する。また、積極的なボランティアの募集を行う。  ・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。
	□ 拡大	
	□ 縮小	
	□ 廃止検討	
○ 維持・改善		
□ 拡大		
□ 縮小		
□ 廃止検討		

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	199	599	200
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2	6	2
	受益者	市民(4/1現在)	(B)	93,312	92,861	92,097

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・登山道の刈払い	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所 ・登山道の延長が長い為、笹による荒廃地区を継続的に刈払いを実施する事が困難になって来ている。登山愛好者や地元関係者のボランティアとの協働により環境整備が行えるような組織作りを検討する必要がある。  ・登山道の延長が長い為、笹による荒廃地区を継続的に刈払いを実施する事が困難になって来ている。登山愛好者や地元関係者のボランティアとの協働により環境整備が行えるような組織作りを検討する必要がある。	環境政策推進課 地域政策課	市全体でのバランスを考慮し、登山道整備の方針について検討する必要がある。
						平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		200	200	0	200	200	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	200	200	0	200	200		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	福祉センター用地購入事業	内線	3610	特別 予算の 位置 付け	会計	1	一般会計	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約	
種別						款	3	民生費	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	朝日支所 地域振興課					項	1	社会福祉費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	3,616 千円
						目	3	老人福祉費	D	その他事業			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民(朝日町)	どうしたいのか(意図)	土地開発基金保有地(福祉センター用地)の買戻し	概要	事業の実施手法(手段)	合併前に土地開発基金で購入した福祉センター用地(駐車場用地)の買戻しを行う。
	対象者数	1,838					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		H26新規事業						
		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
成果面	活動指標	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	成果指標	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	成果指標	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	成果指標	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
成果指標	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		
次年度の 実施方針	担当課評価	維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討
	二次評価	維持・改善
		拡大
	縮小	
		廃止検討

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	0	0	0	3,616
	受益者1件当たり(円)		(A/B)				1,967
	受益者	0	(B)	0	0	0	1,838

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	土地開発基金保有土地(福祉センター用地)の買戻し	要求のポイント		事業実施の課題	支所	高年介護課 地域政策課	合併前に福祉センター等の駐車場用地を土地開発基金で購入し、現在はサービスセンターの車両や職員の駐車場として活用しているため、当該用地を市が買戻す必要がある。
------	--------------------------	---------	--	---------	----	----------------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)			3,616	3,616	3,700	3,700	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源		3,616	3,616	3,700	3,700		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	42299	食用油リサイクル事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります。 環境保全に取り組みます。 ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、環境保全は今を生きる全ての人が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など環境改善につながる取り組みを支援します。
種別			款	4	衛生費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	朝日支所 地域振興課	内線	項	2	清掃費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	200 千円		
		3640	目	2	塵介処理費	D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	・回収(朝日、高根、国府町)・使用車(公用車3台)	どうしたいのか(意図)	使用済み食用油を回収、精製処理し、リサイクル燃料として使用することにより市民のリサイクル意識の向上を図るとともに、地球温暖化対策を推進する	概要	事業の実施手法(手段)	・一般家庭より排出される食用廃油を拠点施設において定期回収する ・回収廃油は処理施設で精製し、公用車燃料として活用する
対象者数		1,838					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H24実績	廃油の定期回収とBDF燃料の精製								
成果 指標	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
					目標値	2,500	2,500	2,000	1,400
	活動指標	燃料精製量	算出根拠等	L	実績(見込)	1,760	1,600	1,200	
					達成率(%)	70	64	60	
	成果指標	燃料使用量	算出根拠等	L	目標値	2,500	2,500	2,000	1,200
					実績(見込)	2,000	1,680	1,200	
	補足	算出根拠等			達成率(%)	80	67	60	
					目標値				
		算出根拠等			実績(見込)				
					達成率(%)				
		算出根拠等			目標値				
					実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)					
				目標値					
	算出根拠等			実績(見込)					
				達成率(%)					

## 3 分析・評価 (Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	廃食油の分別回収と再資源化は地球温暖化防止対策や環境保全の一環とした取り組みであるが、精製燃料の利用方法と回収方法の検討を要す
--------------------------	---

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH25対応状況	一般家庭からの回収が低下していることから事業所等へ回収範囲を拡大しつつ事業継続していく	
次年度の 実施方針	維持・改善	精製機械の耐用年数を勘案しつつ、将来的な当該リサイクル事業の規模・方針について検証が必要である。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	維持・改善	環境に対する効果、コスト面、精製処理した油の需要等を比較し、全市的に事業の実施方針・規模について検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	179	153	220	200
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	95	82	117	109
	受益者	朝日地域住民 (B)	1,890	1,873	1,873	1,838

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	・一般家庭等から排出される食用廃油の回収 ・回収した廃油の処理施設での燃料精製	要求の ポイント	・廃棄物の再資源化と環境保全に取組みと市民へのリサイクル意識の向上	事業 実施 の 課題	・回収量と需要のバランスを維持した規模の継続	生活 環境 課 地域 政策 課	精製機械の耐用年数を勘案しつつ、将来的な当該リサイクル事業の継続について検証が必要  平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要
------	--	-------------	-----------------------------------	---------------------	------------------------	--------------------------------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	220	200	△20	210	210	要求とあり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	200	200	0	210	210		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	51399	モンキードッグ活動支援事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します ・有害鳥獣対策が緊急の課題であるため、駆除と防御事業を強化し、併せて 駆除鳥獣の加工販売など活用方策について具体的に組みます
種別				款	5	農業水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	1	農業費	○	C		終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	180 千円				
		3631	目	3	農業振興費	D		その他事業						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	朝日地域の市民	どうしたいのか(意図)	・モンキードッグ出勤を強化し、安心して暮らせる地域づくりを目指す。	概要	事業の実施手法(手段)	・モンキードッグの活動に対する助成
	対象者数	533 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	モンキードッグ7頭の計、271回の出勤があった。							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	モンキードッグ出勤回数	算出根拠等	10回×6ヶ月×6頭	目標値	420	420	420	420
				実績(見込)	223	271	250	
				達成率(%)	53	65	60	
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
補足								

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・モンキードッグを地域内に平均的配置し実施効果を高めるため、モンキードッグのさらなる育成とともにハンドラーの後継者育成も重要である。
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・連合町内会、及び農業改良組合長会等の場で、モンキードッグ育成の啓発を図る。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・ハンドラーの後継者育成と、モンキードッグをさらなる育成により、地域内に平均的にモンキードッグを配備し、事業実施効果を高める。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
○ 維持・改善	・補助金に頼らず自主的運営に向けた取り組みを進める必要がある。	
○ 拡大		
○ 縮小		
	○ 廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 210	210	180	180
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 394	394	338	338
	受益者	(B) 533	533	533	533

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	有害鳥獣の中でも特にニホンザルの被害は年々深刻化しており、農作物の被害のみならず住民の生活環境を脅かしている。そこで、住民が安心して暮らすことのできる地域づくりを目指し、モンキードッグ出勤等の活動強化のための助成を行う。	要求の ポイント		事業 実施 の 課題	支所 現在活動しているモンキードッグ6頭では、朝日地域全体を一斉にカバーすることは不可能であるため、地域住民との連携体制強化とともに、モンキードッグの新規育成や再育成を行う必要がある。	農務課 特定地域の振興を図る事業であり、平成27年度以降の実施方法について検討する必要がある。
						地域政策課 平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	180	180	0	180	180	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	180	180	0	180	180		



# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	54199	地域生活道路環境保全事業(農道分)	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約
種別			款	5	農業水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	項	4	農業土木費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	400 千円	
			目	1	農業土木総務費		D	その他事業			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	農道利用者	どうしたいのか(意図)	・農道を安全かつ円滑に利用する。	概要	事業の実施手法(手段)	・広域営農団地農道の交通安全確保のための除草 W=1.0 m
	対象者数	不特定多数					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	広域営農団地農道の交通安全確保のための除草(A=5,800㎡)を行った。								
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	除草面積			㎡	目標値	5,800	5,800	5,800	5,800
					実績(見込)	5,800	5,800	5,800	
	算出根拠等	要除草箇所			達成率(%)	100	100	100	
					目標値				
					実績(見込)				
	算出根拠等				達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
	算出根拠等				達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
	算出根拠等				達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
	算出根拠等				達成率(%)				
			目標値						
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
算出根拠等				達成率(%)					
				目標値		</			

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	54199	農道用地購入事業 (土地開発基金)	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約
種別				5	農林水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業		
担当課	朝日支所 地域振興課	内線 3610	予算	4	農業土木費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	千円
				1	農業土木総務費		D	その他事業		

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民(朝日町)	どうしたいのか (意図)	土地開発基金保有地(農道用地)の買戻し	概要	事業の実施 手法(手段)	土地購入費(H25年度末購入金額及びH26年度以降の利息分の合計)
	対象者数	1,838 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	なし							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		算出根拠等		目標値				
	成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
				達成率(%)				
	成果指標	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
	成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
				達成率(%)				
	成果指標	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
	補足	算出根拠等		実績(見込)				
				達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	
----------------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況		
次年度の 実施方針	担当課評価	維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討
二次評価		維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	0	0	521
	受益者1件当たり(円)	(A/B)			283
	受益者	市民(朝日町)	(B)	0	0

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	土地開発基金保有土地(農道用地)の買戻し	要求の ポイント	事業実施の 課題	支所	農務課 合併前に保育園用地の造成に伴い、農道拡幅用地として土地開発基金で購入した用地を買い戻す必要がある。 地域政策課
------	----------------------	-------------	-------------	----	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	0	521	521	600	600	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	0	521	521	600	600		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72299	地域生活道路環境保全事業 (市道分)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約
種別				款	7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	朝日支所 基盤産業課	内線	3641	項	2	道路橋りょう費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	1,000 千円		
				目	2	道路橋りょう維持費	D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民および道路通行者	どうしたいのか(意図)	・沿道景観を保持する(市道) ・「さくらロード」「もみじ街道」の景観保持および植樹帯の保護。(国・県道)	概要	事業の実施手法(手段)	・町内沿道の清掃および草刈り
対象者数		不特定多数					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・町内市道9路線L=26、300mの沿道草刈り							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	沿道草刈り	回	目標値	1	1	1	1
				実績(見込)	1	1	1	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	活動指標	草刈り面積	㎡	目標値	60,000	60,000	64,000	64,000
				実績(見込)	60,000	60,000	64,000	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	補足			目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・限られた予算の中では事業量に限界があり、地域住民にお願いするところが大きい、当該路線の多くは過疎・高齢化地域であり、住民に依頼するには無理がある。 ・緊急雇用創出事業の活用
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・特に危険な箇所や景観の悪い場所を重点的に実施する。																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>維持・改善</td> <td rowspan="3">・現在1回しか実施できないが、年2回実施するのが望ましい。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>維持・改善</td> <td rowspan="3">・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	維持・改善	・現在1回しか実施できないが、年2回実施するのが望ましい。	○	拡大		縮小	二次評価	維持・改善	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。	○	拡大		縮小		廃止検討	
担当課評価	維持・改善	・現在1回しか実施できないが、年2回実施するのが望ましい。																
○	拡大																	
	縮小																	
二次評価	維持・改善	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。																
○	拡大																	
	縮小																	
	廃止検討																	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 830	947	1,000	1,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 439	506	544	556
	受益者	4/1現在の朝日地域住民	(B) 1,890	1,873	1,838

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・市道沿道の清掃および草刈り	要求のポイント	事業実施の課題	支所	維持課 地域政策課	地域間を結ぶ市道であり、距離も長いので地域住民だけでは対応できない。市道の交通安全や景観保全のための業務を委託する。 平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。
------	----------------	---------	---------	----	--------------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,000	1,000	0	1,000	1,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,000	1,000	0	1,000	1,000		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域振興助成事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	4	個人・家庭・地域を大切に する社会を築きます ・地域住民が自らの地域を 改善、振興する活動を支 援するための地域振興特 別予算を 全市域に拡大し権限と予 算の地域移譲を図ります。
種別				款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして 実施されている事業					
担当課	朝日支所	地域振興課	内線	項	1	総務管理費	目	9	企画費	H26計画額	4,500	千円		
			3610											

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域の団体	どうしたい のか (意図)	市民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進する。	概要	事業の実施 手法(手段)	市民自らが主体となって取り組む地域振興事業に対して補助金を交付する。
	対象者数	1,838					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・町内会 17件 2320千円 ・団体等 1件 680千円						
成果面	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標 申請件数	件	目標値	25	25	25	25
			実績(見込)	18	26	25	
	算出根拠等	申請件数	達成率(%)	72	104	100	
	活動指標 補助件数	件	目標値	25	25	25	25
			実績(見込)	18	26	25	
	算出根拠等	補助件数	達成率(%)	72	104	100	
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
算出根拠等		達成率(%)					
算出根拠等		目標値					
		実績(見込)					
算出根拠等		達成率(%)					
補足	・地域の住環境を市民自らの手で維持、改善していくための活動補助として予算ベースで100%の達成率である。						

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・市や地域が管理するべき施設以外の県、国の施設については対応する県の事業を取り入れて、市の負担すべきコストを見直す必要がある。ただし地域の事務的負担が大きくなる。
----------------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・地域で行うべき事業とそうでないものを精査し、地域環境の維持に必要なコストを適正化する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	・27年度以降の対応方法を検討する。 ・当事業が26年度で終了することから、効率的な予算執行を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	○維持・改善	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応を検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,000	3,306	3,500	4,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,587	1,765	1,904	2,448
	受益者	朝日町民(H25. 4. 1現在)	(B)	1,890	1,873	1,838

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対する助成	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支 所	地域 政策 課	平成27年度以降は市の関わり方を整理し、地域づくりの観点から市が実施することと地域で実施することの整理が必要である
------	---------------------------------------	-------------	-----------------	--------	---------------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	3,500	4,500	1,000	4,500	4,500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	3,500	4,500	1,000	4,500	4,500		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域要望対応事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	4	個人・家庭・地域を大切に する社会を築きます ・地域住民が自らの地域を改善、 振興する活動を支援するための 地域振興特別予算を 全市域に拡大し権限と予算の 地域移譲を図ります。	
種別			款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施 されている事業						
担当課	朝日支所 地域振興課	内線	項	1	総務管理費		目	9	企画費	H26計画額				13,189 千円

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域の団体	どうしたいのか(意図)	地域の要望に対応し住みよい環境に整える	概要	事業の実施手法(手段)	地域の要望によりきめ細かな施設修繕事業を行う
	対象者数	1,838					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	5件 3,499千円						
成果 指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	事業実施した数	件	目標値	5	20	20	17
			実績(見込)	5	17	20	
			達成率(%)	100	85	100	
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
			実績(見込)				
達成率(%)							
算出根拠等		目標値					
		実績(見込)					
		達成率(%)					
算出根拠等		目標値					
		実績(見込)					
		達成率(%)					
算出根拠等		目標値					
		実績(見込)					
		達成率(%)					
補足							

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・地域の要望に迅速にきめ細かく対応できる事業であるため、速やかな実施を行う。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	・地域の要望に迅速にきめ細かく対応できる事業であるため、速やかな実施を行う。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
○維持・改善	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応を検討する必要がある。	
○拡大		
○縮小		
○廃止検討		

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 3,499	13,997	6,200	13,189
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 1,851	7,473	3,373	7,176
	受益者	朝日町民(H25. 4. 1現在)	(B) 1,890	1,873	1,838

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・公共施設等の軽微な修繕	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所	地域 政策 課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である
------	--------------	-------------	-----------------	----	---------------	---------------------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	6,200	13,189	6,989	10,300	10,300	・配分額の調整	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	6,200	13,189	6,989	10,300	10,300		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	土地借上料			会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約		
	種別			款				○	B			一般予算の上乗せとして実施されている事業	
担当課	朝日支所 地域振興課			項				C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			H26計画額	千円
	内線	3610		目				D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び競技関係者	どうしたいのか(意図)	施設用地借上	概要	事業の実施手法(手段)	市の基準準備を上回る土地賃貸借
	対象者数	1,838 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
成果面	活動指標	施設用地		目標値	28,454	28,454	28,454	28,454
				実績(見込)	28,454	28,454	28,454	
		算出根拠等	土地賃貸借契約	達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・市の基準を上回っているため単価交渉をする必要がある。
--------------------------	-----------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・市の基準を上回っているため単価交渉をする必要がある。		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討	・市の基準に近づけるよう単価交渉をする。
	二次評価	維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討	(担当課評価に同じ)

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	910	898	881	874
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	481	479	479	476
受益者	朝日地域住民	(B)	1,890	1,873	1,838	1,838	

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・高齢者若者センター施設用地 ・市営鈴蘭シャングエ施設用地	要求のポイント	事業実施の課題	支所	・市の基準に近づけるよう単価交渉する	農務課	高齢者・若者センターについては、平成26年8月末に補助金適正化法による制限が終了するため、今後の方針を決定し適正に処分する予定である。
						地域政策課	基準内の借地料となるよう交渉が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		881	874	△7	874	874	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0	120	120		
	一般財源	881	874	△7	754	754		